



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 1 学期終業式号
令和 8 年 7 月 17 日発行

雨だったからこそ

6 年生は、6 月 25 日（木）・26 日（金）の 2 日間、修学旅行に行ってきました。両日ともあいにくの雨となり、とりわけ 2 日目には大阪市に大雨警報が発令されたため、予定していた大阪城の見学ができなくなりました。しかし、そのような状況の中でも、子どもたちは誰一人として否定的な言葉を口にすることなく、前向きに学びを深めました。

特に 2 日目は、楽しみにしていた見学先が変更になったにもかかわらず、大阪市立科学館で班ごとに意欲的に学習する姿が見られました。その様子からは、不測の事態に直面したときに、できないことを嘆くのではなく「今できる最善は何か」を考え、行動するチームワークのよさが感じられました。子どもたちの大きな成長を目の当たりにし、大変うれしく思いました。このように、困難な状況にあっても前向きに考え、できることを見つけて行動する姿勢は、これからの人生においても大切な力になることでしょう。

また、添乗員、バスガイド、バスの運転手の皆様にも心から感謝申しあげます。急な予定変更にもかかわらず、嫌な顔一つせず、「子どもたちの大切な修学旅行をどうすれば安全に続けられるか」を真剣に考え、支えてくださいました。その高いプロ意識に深く感銘を受けました。さらに、保護者の皆様にはご心配をおかけしましたが、温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。

修学旅行に参加した子どもたち、そして支えてくださったすべての関係者の皆様のおかげで、一生に一度の小学校生活の修学旅行を、雨だったからこそ得られた学びのある、かけがえのない思い出にすることができました。6 年生には、この 2 日間でさらに深まった仲間との絆を力に変え、最高学年としてこれからも三笠小学校を力強く引っ張っていってくれることを期待しています。

本日、1 学期の終業式を迎えました。この 1 学期を振り返ると子どもたちの優しさが友達を助けたり、周りの人を元気づけたりする場面がたくさん見られました。ぜひ、その一部をご紹介したいと思います。

- ある日、家に帰ると鍵がかかっていて家に入れない子がおり、近所の子どもたちがその子に寄り添い、一緒に学校まで戻ってきてくれました。
- 朝、登校班に遅れがちな子の家へ近所の子どもが迎えに行ってくれることで、安心して登校できるようになりました。
- 登校中、横断歩道で止まってくださった車の運転手さんに対して、班長が礼儀正しく頭を下げる姿に感動し、「元気をもらいました」とお電話をいただきました。

こうしたうれしい出来事にふれるたびに、子どもたちのもつ力の大きさを実感します。私たち大人も、日々子どもたちから多くのことを学び、元気をもらっています。ぜひこの 1 学期を振り返り、お子様の成長した姿を具体的なエピソードとともに褒めたり励ましたりしていただければと思います。そのための機会として、夏休み中にすべての保護者の皆様と担任との懇談を予定しております。お忙しい中とは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

いよいよ明日から夏休みが始まります。先日、2 年生から嬉しい葉書をいただきました。国語の学習で書いたようです。その人の字や絵にふれると、姿が思い浮かび、嬉しいものです。夏休みも、事故やけがないよう、安全を第一にお過ごしください。また、夏休みの宿題や自由研究などを通して、普段よりもゆったりとした時間の中で、自分の力で考え、取り組む経験を大切にしたいと思います。

2 学期、子どもたちが元気に登校し、さらに成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。保護者・地域の皆様には、1 学期間にわたり多大なるご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。夏休み中も、厳しい暑さが予想されます。皆様どうぞご自愛ください。

校長 高峰 真実 教職員一同

